



# 脳障害児の改善 上海中冶医院 江飛龍の心身機能活性療法のまとめと報告

江飛龍（ロンロン）ちゃん 5才（男）

脳性マヒ、半身肢体障害

生まれた時に酸素欠乏で5ヶ月後肢体障害  
左指の開閉ができず、病院でCT検査診断  
結果：脳性マヒ、半身肢体障害  
日常生活は自立が出来ない。



## 開始時の主な症状

表情は冷淡、集中力が無い、記憶力障害、言語障害、トイレのコントロールができず、もらしてしまい、いつもトイレに行く（不規則）劣等感、知的障害、元気には見えるけれど日常生活は全然自立できない。左肢体は筋力が無い、平衡感覚が無い、耐久力が少ない、上肢筋力Ⅱ級、指の関節は握ることができず細かい運動が出来ない。腕の関節の外廻し内廻しが出来ない。手首を曲げる能力はⅡ級、肘関節の曲げ伸ばし外屈、内屈の困難度はⅡ級。肩関節の内廻し、外廻し、腕を上げて外展、内展等自在に出来ない。左下肢の筋力Ⅲ級、骨関節の力が弱い。歩く時は右足は内から外側に動いてしまう。座る時は腰の力が入らない。真っ直ぐにならない。

## 1ヶ月目

表情が豊かになる。食欲が良くなった。排泄が正しくなった。  
集中力が以前より良くなった。

運動の活力が感じて感覚機能が高まった。日常生活は自立。食事、お風呂などは自分で出来る様な意識が高まった。（積極的になった）

## 2ヶ月目

身体機能の改善は著しく改善したとともに、まわりに関心を持ち始めた。  
性格も大らかになった。フラハンドなど心身の運動を指導すれば正しく、バランス良く、平衡感覚、集中力、記憶力、反射機能も著しく改善した。

リラックスのことを教えればリラックスして運動ができる。座る姿勢が正しくなった。  
左手の握力が増えた。指関節が自在に開閉できる。体質も良くなって、手の指関節の動く範囲が増大した。





# 脳障害児の改善 上海中冶医院 江飛龍の心身機能活性療法のまとめと報告

## 3ヶ月目

歩く平衡感覚は正常に近い、劣等感の代わりに積極性がでてきた。算数が良くできるようになった。自信が出てきて言葉によるコミュニケーションと書く能力が高まった。自立性が高まった。  
一日のリハビリした後の満足感を表現できるようになった。

## 指導士の感想

指導士 : 文

3ヶ月の時間が早く経ちました。指導士の勉強から実際の活動まで実行した結果、正しく、そして心身の理論は医学、心理学、運動学、社会学、そして脳と心と体が連動しながらのリハビリ療法だと思います。ロンロンちゃんが心身ともに改善されたことを私は指導士としての存在価値が感じられました。ロンロンちゃんと困難を克服し、彼が来年小学校に行くことが出来る基礎を作ってあげたことに対して私は嬉しく思います。3ヶ月間は決して簡単ではなかった。

子供たちの頑張る姿勢、そして「続こう続こうまた続こう」の団体精神。そして小川先生の励ましと、私達に任務を与えてくれたことに対して、もっと責任を持って、将来、在宅、病院内でもこの新しい理念と新しい方法「人を人らしくする運動療法」を続けるよう頑張ります。





# 脳障害児の改善 上海中冶医院 王毛毛の心身機能活性療法のまとめと報告(1)

王毛毛（モモ）ちゃん 5才（女） 脳性マヒ

## 開始時の主な症状

顔色は蒼白、表情は冷淡。聴力、視力は正常。知力も正常。頭や腰のコントロールが良くない。頭は左側に60度傾斜。腰も曲がっている。全身は硬直状態。小児科の専門検査結果は上肢の筋張力は2級。下肢の筋張力は2級。踵は時々痙攣する。上肢筋力3+。下肢筋伸筋肉筋力3+。外展筋、内収筋、屈筋筋力2級。踵背屈伸筋2級。自分では自主的な運動が出来ない。座ったり立ったりすることは不可能。



立つ時は真っ直ぐにならない。補助して歩くと鉗状になる。 一歩足を出すことが出来ない（困難）。言語が不明瞭で、意思表示に支障がある。話をする時に全身が緊張する。目が上にあがってしまう。自分の意志を表現できない。ADLは完全介護。 食事、着衣、トイレ全て介助が必要である。認知面は数字の一（イチ）しか分からない。単純な加算ができない。集中力がない。軽いうつ。

## 1ヶ月目

先ず表情が豊かになる。自己表現は80%の意味が言葉で表現できる。発音が、明瞭になる。良くしゃべり言葉数が増えた。目が上にあがるものが減少した。全身の筋張力が1級になった。筋力が2級になった。頭の傾斜度が改善した。誰かに注意されると直すことが出来るようになった。腰の力が増加し、真っ直ぐの状態を保つ事ができる。ゲー、チョコキ、パーができる。腕を左右に揺らす事が出来る。足首の伸びが良く動くようになった。座った時、座位が平行の姿勢に保てる。介助して歩くととき鉗状の歩き方が改善した。スプーンで自分で食事が出来る。 数字の4と5が分った。家族は家で自立してきたので楽になった。



## 2ヶ月目

筋肉の筋張力の改善は少ない。但し、平衡感覚が良くなった。大進歩した。なぜなら一人で立つこと座ることが出来た。一人で1分間立つことが出来る。補助器で両足を上げ、踵をついて歩くことが出来る。鉗状態がなくなった。目と手の協調性が高まった。フィンガースポーツ、フラハンドによるストレッチ運動動作が全部



# 脳障害児の改善 上海中冶医院 王毛毛の心身機能活性療法のまとめと報告(2)

完全にできるようになった。歌のリズムも合せられる。ビンゴ輪投げ、ゲーゴルゲームも一定の目標に向かって投げる、打つことが出来るようになった。声の音量が高くなった。自己意思が完全に表現できるようになった。話す時相手の目を見て話すようになった（目が上に行かなくなった）。

## 3ヶ月目

筋肉筋張力がほぼ無くなった。足首と踵の痙攣が無くなった。頭部のコントロール能力が高まった。指導士と共にゆっくり頭部の運動が出来る。立つ安定性が高まった。単独で4歩歩けるようになった。歩行運動機で7分間連続して歩ける。歩く姿勢が正しくなった。認知の面は 1～10 までの数字が分る。簡単な算数ができる。指導すれば生活は自立できる（ADL）。

## 指導士の感想

指導士：王新莹

私は毛毛ちゃんがここまで来たことに喜びで言葉では表現できません。この療法は患者・脳障害児と1対1で行います。その治療方法は脳障害児に対してはふさわしいと思います。なぜならば、医者と患者とお互いに決めた時間をリハビリすると、お互いが理解し合うことが出来ます。一番良いことは、リハビリの苦痛をさせなくて、お互いに飽きなくて、ゲーゴルゲームが入っているので面白くて機能が高まります。もう一つは団体で行なうから、たとえ疲れても皆な同じ事をやっているの助け合うことができるので楽です。困難なことがあった時は皆で一緒に解決でき、集団の暖か味と力強さを感じています。そしてもっと感動したことは、毛毛ちゃんが幼い声で常に私の耳元に「私は歩きたい」

「学校に行きたい」「ダンスを踊りたい」「将来大人になったらスターになりたい」この言葉を聞くとちょっと辛い。「この障害を持ったままでは・・・」でも私はもっと努力して、この子の夢を実現させる事ができるようなことができればいいなと思います。





# 老年性認知症の改善 上海中治医院

丁学枢さん 83才 (男)

診断名 : 老年性認知症

## 開始時の主な症状

「人物誤認」「時間が分からない」「方向感覚が無い」「判断力、記憶力が低い」「情緒不安定」「大声を出す」「暴言をはく」「徘徊」「暴力」「無気力で頭を下げたままで上にあげることがない」「やる気がない」



## 1ヶ月目

最初の頃は協力性がなく、「常に眠った状態」「気力喪失」「疲労感」「全身の筋肉が硬い」「尿失禁」「おむつを常時つけている」後半は少しずつ協力性がでてきた。心身のプログラムを最後まで完成できない状態。

## 2ヶ月目

精神状態が改善された。顔の血色が良くなって、食欲が増え、頭が上にあがる様になった。集中力が良くなった。ビンゴ輪投げで最高 53 点取れたことがある。情緒の安定性がでてきて、歩行訓練機で 3～5 分間歩けるようになった。

## 3ヶ月目

主体性が出てきて自分から、人に挨拶し、周囲に関心を持ち始めた。自分で立って、歩くことができる。四肢が柔らかくなった。トイレに行きたいとの意思が伝えられる。トイレの方向も一度教えたらわかる。最近の国家情勢について興味が出る。現在の中国国家の主席の名前を覚えている。新聞を読むようになった。





# 老年性認知症の改善 上海中治医院

宋杯珊さん 84才 (男) 診断名 : 老年性認知症

## 開始時の主な症状

「家族の顔を覚えていない」「自分の名前が分からない」「表情が冷淡」「情緒が不安定」「暴力」「拒食」「協調性が無い」「無語」「人との交流が無い」「同じことを繰り返す」「自己意思、表現が出来ない」「他人の活動には興味が無い」「一人で歩けない」「平衡感覚が無い」

## 1ヶ月目

精神面の改善：怒らなくなる。拒食現象が減少。

指導士の説得で心身のプログラムを最後まで完成できる。

身体機能面の改善：握力／左手2kg、右手3kgから左手3kg、右手6kgまで上がった。



## 2ヶ月目

情緒が安定してきて、笑顔も良くみられる。食欲増進。トイレ、入浴、着衣などは指示すると協力的に完全に出来る。靴は自分で履ける。日時がわかるようになる。介助をすれば歩ける。フラハンドを立てて廻すことが出来る。フィンガースポーツは最初は指には絶対入れなかったが、2ヶ月目には自分で指に入れて運動することが出来る。

集中力が出てきて、周りを観察するようになった。

周囲に関心し始めてから、積極的に参加する。自己表現が出来る。

体の具合が悪い時に、その個所を示すようになった。(例えば、腹痛、腰が痛い等)

## 3ヶ月目

最初の頃は病気で10日間休みましたが、その後の改善は特に精神面では、心がやさしくなって、思いやりがでてきて、足の温熱療法をする時は、私(指導士)の手をもって「疲れてるから少し休みなさい」とやさしい声をかけてくれる。嬉しかった。普通に歩けるようになった。人と良く会話をする。30分間立つことができる。



# 老年性認知症の改善 上海中治医院

## 指導士の感想

3ヶ月間の実践活動による認知症老人の改善は明らかで、これからも今のこの病院だけでなく、在宅や地域の人々に教えてあげたい。  
そして指導士は医者だけではなく、社会人、ボランティア等もっと多くの人に技術を身につけてもらったらいいなと思います。

